

職員会議（９月２２日（水）） 校長より

※前半６か月、きめ細かで丁寧な手厚い指導・支援、ありがとうございます。後半６か月は「遠野高校」を掲げての最後の日々でもあります。引き続き、よろしくをお願いします。（遠野ならではの教育を継承する（続ける・残す・伝える・広げる）ためのアクションを！）

※１０・１１・１２月は、これまでの取り組みを踏まえ、令和３年度学校経営運営ビジョンを着実に実行し、掲げた目標を達成しましょう。（令和３年度予算は２学期のうちに執行しましょう。）

※年が明けると、令和３年度のまとめ（点検・評価）をしながら、令和４年の計画・準備を進めることになります。特に、統合校（いわき湯本高校）開校準備のラストスパートです。

※感染拡大状況に対する緊張感と危機感を持ちながら、感染リスクの高い活動を理解し、レベル２、３対応の活動内容に変更することができるかなど、発出される教育長通知文をよく読んで、感染症対策と教育活動の両立に向けた対応をしていきましょう。

１ 遠野高等学校閉校に当たって取り組むこと

＜学校としての基本的な考え方＞

○７４年の歴史を閉じる遠野高校の思いをしっかりと引き継ぎながら、統合校として新たに発足するいわき湯本高校へ「つなぐ・つなげる」（湯本高校としっかりと連携しながら）

○同窓会の思いを重く受け止め、ＰＴＡ・部活動後援会としっかりと連携しながら、学校あげて取り組む

＜閉校に当たっての取り組み（感染症対策を講じながら）＞

○最後の全校生による学校行事（同窓会、ＰＴＡ・部活動後援会との連携）

※テーマ「ネクスト・ジェネレーション」

- ・あかさか祭（公開文化祭） １０月３０日（土）
- ・球技大会 １１月１２日（金）
- ・マラソン大会 １１月１９日（金）
- ・百人一首歌留多大会 １２月１６日（木）

○最後の卒業式

- ・同窓会入会式 ２月２８日（月）
- ・卒業式 ３月 １日（火）

○式典等（同窓会、ＰＴＡ・部活動後援会との連携）

- ・閉校式・お別れ会 ３月１８日（金）
- ・閉校記念誌、閉校記念碑

＜統合校（いわき湯本高校）の準備＞

○業務を洗い出し、教頭を窓口に係ごとに進める

- ・教育課程、特色ある教育内容、医療・看護のコース制、高大連携
- ・パンフレット、ポスター、体験入学、統合校HP
- ・教科書、志願して欲しい生徒像・選抜方法、高校入試
- ・制服、運動着
- ・校歌、校章、校旗
- ・内規（教務、進路指導、生徒指導、図書、厚生など）
- ・開校式、入学式
- ・PTA、部活動後援会、同窓会
- ・部活動、生徒会交流
- ・施設・備品 など

○学校規模縮小に伴う見直し・・・限定保障の論理で考えましょう（何ができるかを確定し、いつまでにどういう方法で、どのように条件を整えて実行に移すか）

○物品（10月中）や資料（11月中）などを整理

2 「感染症対策」を徹底しながら「教育活動」を保障するという前例のない「リスクマネジメント」

○キーワード

- ・クライシスとは？リスクとは？
- ・クライシスマネジメントとは？・リスクマネジメントとは？・マネジメントとは？
- ・行事における安全管理とは？・高揚感を踏まえた指導とは？
- ・キャンセルカルチャーとは？・モラルタフネスとは？

3 頑張れ、3年生！

○入社試験、大学受験等スタート。応募前職場見学、調査書作成、作文添削、一般常識問題演習、模擬面接指導など、さまざまな事前指導、ありがとうございます。

○試験結果が出てからの事後指導もていねいをお願いします。変化を見逃さない、声かけはていねいに、目配り・気配りなどをお願いします。

○引き続き、3年生の希望進路（就職・進学）実現に向けて学校全体で指導・支援していきましょう。

○進路に係るミスの未然防止（複数による点検、思い込みやうっかりはダメ）

4 学力向上・進路実現

- 育成する資質・能力の評価指標（ルーブリック）、「遠野高校授業スタンダード」、キャリアパスポート等を活用し、「主体的・対話的で深い学び」を推進し、学力向上（基礎・基本の徹底）を図り、進路実現につなげましょう！
- 職場体験（2年生）、朝の読書、ドリル学習、T-P a Iクラブ（グループソーシャルスキルトレーニング）、遠野和紙保存プロジェクト（地域課題探究学習） 等々
- 学びの変革（ICTの活用などによる個別最適化された学び、感染症対策と学びの保障を両立させるための手立て）
- 新学習指導要領（特に、観点別評価）
 - 特に、一人一台端末環境整備、学習評価については、“浦島太郎”にならないように！

5 感染症対策と教育活動の両立

- 学校行事・・・球技大会、修学旅行（2年生）、公開文化祭、マラソン大会、百人一首歌留多大会 など
- 感染症対策を講じながら教育活動を保障することが基本線
- 悲観的に準備し、楽観的に実行する！ →「リスクマネジメント」！
- コロナ禍において、生徒の学びを保障しようとすれば、あれこれ悩み・考え、いろいろと大変にならざるをえないのではないのでしょうか

6 生徒観察、教育相談、心のケア（目白押しの学校行事、就職試験の結果、部活動の大会など、2学期は生徒の心が揺れ動く時期です。）

- みんなでS O S（生徒から、先生から）をキャッチ・情報共有（変化に気づく・見逃さない、声かけ、悩みを抱え込まない）
- 特別支援教育コーディネーターと連携しながら、S C、S S Wなどをつなげる・つなげる

7 学校の在り方の変革

- 解錠・施錠時間の設定など、限定保障の考え方で！
- ワークライフバランス
- 人権・ジェンダー（多様性の尊重・配慮）

◎ “ありがとう” と言える・言ってもらえる生徒を育てていきましょう！